

2023年11月29日  
公益社団法人日本アドバイザーズ協会  
デジタルマーケティング研究機構

## 第11回 Web グランプリ Web 人部門 受賞者発表

### 『Web 人大賞』は

### パナソニック コネクトの山口 有希子 氏

332社が加盟（2023年10月末現在）する公益社団法人日本アドバイザーズ協会 デジタルマーケティング研究機構（所在地：東京都中央区銀座 代表幹事：中村 俊之）は、第11回 Web グランプリ（<https://award.dmi.jaa.or.jp/>）の「Web 人部門」、Web 人大賞含む Web 人賞の受賞者を決定いたしました。

「Web 人賞」は、有識者で構成される Web 人賞選考委員会による審査会、及びデジタルマーケティング研究機構 幹事会で審議の結果、次の方々に贈賞いたします。

#### 【Web 人大賞】

山口 有希子 氏 （パナソニック コネクト株式会社）

#### 【Web 人賞】

長田 新子 氏 （一般社団法人渋谷未来デザイン）

森永 真弓 氏 （株式会社博報堂 D Y メディアパートナーズ）

屋代 陽平 氏 （株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメント）

山本 秀哉 氏 （株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメント）

山本 京輔 氏 （株式会社博報堂）

Web 人部門は、「人」にフォーカスした賞として、優れたウェブサイト、ウェブプロモーションにとどまらず、広くデジタルを活用したマーケティング、コミュニケーションなどの原動力となった人物にフォーカスをあて、その方の功績を讃えて表彰しており、前身となる「Web クリエーション・アワード」（2003年～2012年）から毎年開催しています。

昨年までの受賞者はこちらからご覧いただけます。

<https://award.dmi.jaa.or.jp/winner/>

#### 【お問合せ先】

公益社団法人日本アドバイザーズ協会 デジタルマーケティング研究機構 Web グランプリ事務局

受付時間：10：00～17：00＜平日のみ＞ TEL：03-3543-5855

e-mail：[award-info@dmijaa.or.jp](mailto:award-info@dmijaa.or.jp)

お問合せフォーム：<https://award.dmi.jaa.or.jp/inquiries>

## 第 11 回 Web グランプリ Web 人部門 受賞者一覧 【Web 人大賞】

### 山口 有希子 氏

(パナソニック コネクト株式会社)

山口氏は、日本アドバイザーズ協会 デジタルメディア委員会 委員長として、アドクラウドやブランドセーフティなどの「デジタル広告の課題」について、業界の健全化につながる活動を精力的に実施されてきました。また、自社でのマーケティングの取り組みを積極的に発信されることにより、業界全体へのよい刺激を与えてられました。

「世界に通用するCMOになる」との思いで実績を重ねてこられた山口氏は、今年、パナソニック コネクト株式会社の取締役 CMO となりました。DMI では、昔から「ウェブやデジタルの仕事をしている人が上場企業の役員になる社会にしていく」という思いがありました。業界において精力的に活動していた山口氏が、日本を代表する企業グループの社員約 3 万人を抱える企業の実業取締役となったことは、変化を感じさせる大きな出来事です。これまでの活動と実績に敬意を表するとともに今回の受賞とさせていただきます。



### 【Web 人賞】

### 長田 新子 氏

(一般社団法人渋谷未来デザイン)

長田氏は、自身のマーケターとしてのバックグラウンドを用い、イベント、情報発信含めプロジェクトを多様なメンバーで組成し、多くの人を巻き込んだイノベティブな渋谷の街づくりを推進されました。また、マーケターキャリア協会理事としてキャリア支援活動も行っています。2020年に「バーチャル渋谷」を立ち上げ、今年はリアルな街に新たな体験を拡張する世界初都市型XRスポーツ「AIR RACE X」を開催し、レースが不可能な渋谷に拡張現実を通じて実現することに挑戦されました。Metaverse Japan 代表理事としても、今年はラボを立ち上げ大学・企業と研究活動をスタートしました。

さらにシブヤ・スマートシティ推進機構にてデータを活用した街づくりの推進や、CCBT(シビック・クリエイティブ・ベース東京)の運営委員としてアートとデジタルテクノロジーで人々の創造性を社会に発揮するための活動も行うなど、これまでの活動と実績により今回の受賞となりました。



### 森永 真弓 氏

(株式会社博報堂DYメディアパートナーズ)

森永氏はデジタルマーケティング、ネット広告、インターネットカルチャーに黎明期から深く関与し様々な提言を続けています。

2022年には象徴となる書籍発刊をおこない、各界にとりあげられました。これらをテーマにしたイベントや番組への出演も多く、生活者研究の目線から新しいパラダイムや仕組みを分かりやすく翻訳・言語化しました。それらビジネス界に浸透させる活動が顕著な成果を上げたことで今回の受賞となりました。



**屋代 陽平 氏**

**山本 秀哉 氏**

**(株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメント)**

屋代氏と山本氏は、YOASOBIのAyase氏、ikura氏とともに、YOASOBIの企画やプロモーションを様々な形で支えてくれました。

特に2023年に入ってからリリースされた楽曲「アイドル」においては、TikTokやYouTubeなど様々なネット上での話題化の仕掛けを組み合わせられたことにより、これまで日本のアーティストでは難しいと考えられていた、ビルボードの米国外グローバルチャートでの1位獲得など、目覚ましい成功を成し遂げられましたこと今回の受賞となりました。



**山本 京輔 氏**

**(株式会社博報堂)**

山本氏は、博報堂 ビジネスコンプライアンス局に所属する傍ら、消費者庁のステルスマーケティングに関する検討会の委員として活動されました。また WOM マーケティング協議会（現・一般社団法人クチコミマーケティング協会）副理事長（ガイドライン担当）として、2023年10月からのいわゆる景表法のステマ規制の施行開始にあたり、JAAやJAROをはじめ様々な講演活動や解説セミナーなどを通して、消費者庁のステマ規制の告示内容の解説、企業担当者の理解促進に努めました。また、2023年6月のWOMマーケティング協議会によるWOMJガイドラインの改訂にも尽力され、同10月からの運用開始を主導されました。

これら山本氏の功績により、企業の広告担当者、デジタル・ウェブ担当者のステルスマーケティング撲滅への正しい理解が進み、業界の健全化に大きく貢献されたことが評価され、今回の受賞となりました。



# Web グランプリとは

Web グランプリとは、デジタル社会の発展に貢献してきた「人」と「サイト」を表彰するために設立されました。

2003年から毎年開催し、これまで多くの「Web 人（ウェブジン）」を輩出してきた Web クリエーション・アワード（デジタルマーケティング研究機構（当時：Web 広告研究会）主催）と、2007年から毎年開催し、日本の企業ウェブサイトの発展に寄与してきた企業ウェブ・グランプリ（企業ウェブ・グランプリ主催）を統合し、2013年を第1回として開催し、以後、毎年開催しています。

インターネットがすみずみまで行き渡った現在、ウェブサイトは社会にとって欠かすことのできないメディアになりました。特に、ソーシャルネットワークが大きな影響力を持つ昨今では、様々な情報のソースとしてもウェブサイトの重要性がいっそう高まっており、多くの方々がその運営に地道な努力を捧げています。

この「Web グランプリ」は、ウェブサイトの健全な発展をめざすとともに、【ウェブ関係者のウェブ関係者によるウェブ関係者のための賞】として優れた功績を残した企業及び人物を顕彰し、その労と成果を讃えることを趣旨としています。

表彰部門は大きく2つ「Web 人部門」と「企業グランプリ部門」に分かれています。

「Web 人部門」はこれまでの Web クリエーション・アワードに相当し、ウェブ社会の発展に貢献してきた「人」に授与されます。「企業グランプリ部門」はこれまでの企業ウェブ・グランプリに相当し、各企業のウェブ担当者同士の研鑽により制作・構築された、見本とすべき「ウェブサイト」に授与されます。

## 【Web 人賞選考委員会 選考委員】

- 今田 素子 2013年 Web 人賞受賞  
(株式会社メディアジーン代表取締役 CEO)
- 徳力 基彦 2007年 Web 人賞受賞  
(note プロデューサー/ブロガー)
- 長谷川 敦士 2012年 Web 人賞受賞  
(株式会社コンセント 代表取締役社長)
- 平田 大治 2004年 Web 人賞受賞  
(シックス・アパート株式会社 取締役 CTO)
- 安田 英久 2010年 Web 人賞受賞  
(株式会社インプレス Web 担当者 Forum 編集統括)

## 【Web グランプリプロジェクト 運営メンバー】

### ◇Web グランプリプロジェクトリーダー

新井 隆之 (岩崎電気株式会社、デジタルマーケティング研究機構 幹事)

### ◇Web グランプリプロジェクト プロジェクトメンバー

西田 健 (キャノンマーケティングジャパン株式会社、デジタルマーケティング研究機構 副代表幹事)



## デジタルマーケティング研究機構について

日本アドバイザーズ協会 デジタルマーケティング研究機構 (Digital Marketing Institute) は、1999 年 4 月 1 日、社団法人日本広告主協会(現:日本アドバイザーズ協会)デジタルメディア委員会内の研究会を母体として発足しました(発足時名称:Web 広告研究会)。

業界の枠を超えてウェブ広告・マーケティングに取り組む全てのプレイヤーによる研究活動を行う場として、インターネット上の広告展開における、様々な課題について、広告主と関連企業・団体(広告会社、メディアレップ、媒体社、調査会社、システム提供会社など)が共通の場で研究活動を行うことにより、インターネット上の広告の健全な発展を促進することを目的としています。

定期的なフォーラム・セミナーの開催のほか、各種広告手法の効果実証実験、企業サイトのプロデュースの研究とその評価、個人情報保護問題への取り組み、ブロードバンド・モバイル環境の研究、生活者のメディア接触変化の研究などの幅広い活動を 9 の委員会と 4 つのプロジェクトで行っております。

構成は以下のとおり

<委員会>

- ・コーポレートブランド委員会
- ・ソーシャルメディア委員会
- ・コミュニケーションプランニング委員会
- ・データ活用委員会
- ・カスタマーエクスペリエンス委員会
- ・イノベーション委員会
- ・モバイル委員会
- ・B2B マーケティング委員会
- ・West デジタルマーケティング委員会

<プロジェクト>

- ・Web グランプリプロジェクト
- ・人材育成プロジェクト
- ・ネット広告健全化推進プロジェクト
- ・U35 プロジェクト

◆会員社 (2023 年 10 月 31 日現在) 332 社

◆代表幹事 中村 俊之 (株式会社ポーラ)

◆事務所 〒104-0061 東京都中央区銀座 3-10-7 ヒューリック銀座三丁目ビル 8 階

◆ホームページ <https://dmi.jaa.or.jp>